

活動紹介

= 感謝いっぱい、ふれあいまつり =

10月28日(日)第9回ふれあいまつりを開催しました。隣接のきらら博記念公園で「山口ゆめ花博」が開催中ということもあり、ふれあいまつりへの来場者がどのくらい期待できるのか不安でしたが、例年とほぼ同じ人数を迎えてのオープニングセレモニーとなりました。午後からは「花博」からの流れの来場者もあり賑わいました。ゲームコーナー、ウォークラリー、バードウォッチング、新作紙芝居のお披露目や工作教室も開かれました。売店では焼き芋、うどん・おにぎり、コーヒーの販売に加え、クロツラプロジェクトの榎野川河口域自然育成協議会による鮎の塩焼きの販売もあり、公園は食欲をそそられる匂いに包まれました。何といてもメインは餅つき体験コーナーで、熱々に蒸しあげられた餅米が石臼に移されると、大人が粗搗きをし、待ち構えていた子どもたちが「ヨイショ!! ヨイショ!!」の掛け声にあわせて杵を振りました。搗き上がった餅はみんなで丸めて、子どもたちに3個ずつ持って帰ってもらいました。近くで大きなイベント開催の中、厳しい交通渋滞をくぐりぬけて来場いただいた皆様に、感謝の気持ちでいっぱいのふれあいまつりとなりました。



= 研修旅行報告 ～重源の郷・三谷の石垣棚田・佐波川上流～ =



11月4日(日)葦の会メンバー9名と原田園長で8時過ぎに出発。交通事情もよく1時間足らずで重源の郷に到着。紅葉と共に茅葺の家屋や水車など昔懐かしい風景を堪能した。

鳥たちの一鳴きごとに園長が解説。メジロ、エナガ、シジュウカラ、ヤマガラ、コゲラ、ウグイスなど弱小鳥類が群れを作る「混群」も確認できた。以前、園長が寄贈した「徳地地鶏」の元気な様子も見学。そば打ち体験では、自分で打ったそばを昼食として舌鼓も打てた。三谷の石垣棚田を鑑賞し先人の知恵に感服。佐波川上流では観察予定のカワガラスには会えず残念だった。16時無事に公園に帰りついた。

= 環境サポートチーム活動報告 =

11月23日(金)環境サポートのメンバー5名とレンジャーとで、新設されたクロツラヘラサギの保護ケース脇にある汽水性植物池の整備をしました。小さな池ながら海水と淡水が混じるこの池は絶滅危惧種のウラギクが生息しています。種を取るためのウラギクまで刈り取らぬよう気遣いながら池周辺の葦を刈りました。気温の低い日でしたが、手入れを重ねた後にはウラギクが咲き乱れ、周辺をクロツラヘラサギが餌をついばむ池を目ざしてがんばりました。